

埼玉県地域医療構想の概要

構想策定の趣旨

急速な高齢化の進展による医療需要・介護需要の大きな変化が見込まれる中、医療や介護を必要とする県民が、できる限り住み慣れた地域で必要なサービスを受けられる体制を確保することが求められる

限られた医療資源を効率的に活用できる医療提供体制の「将来像」を明らかにすることが必要

地域医療構想の策定(平成28年10月)

構想の性格

- 医療法により都道府県に策定が義務付けられている医療計画に定める事項として規定
- 令和7年(2025年)の医療提供体制に関する構想
- 第6次の地域保健医療計画の一部として策定し、第7次計画に位置付け

医療需要等の推計方法

- 令和7年(2025年)の医療需要及び必要病床数の推計は、平成25年の患者データを基に、医療法施行規則に規定された方法により区域ごとに算定
- 区域間及び都道府県間における患者の流出入については、平成25年度と同様として推計

* 推計の基礎となるデータ

NDBレセプトデータ及びDPCデータ、正常分娩・生活保護、労働者災害補償保険・自動車損害賠償責任保険等のデータ、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月 中位推計)」

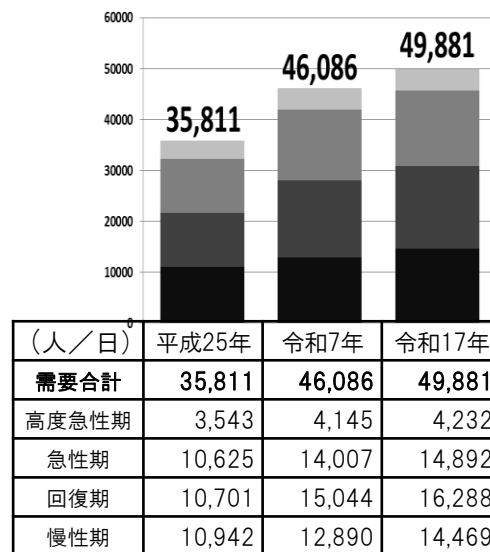
区域の設定

「構想区域」は埼玉県地域保健医療計画に定める「二次保健医療圏」と同様とする。



令和7年(2025年)における医療需要

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差引
合計	51,396	54,210	▲2,814
高度急性期	6,012	5,528	484
急性期	25,029	17,954	7,075
回復期	5,336	16,717	▲11,381
慢性期	12,998	14,011	▲1,013
休棟・無回答等	2,021	—	2,021

在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
(人/日)	46,152	82,372

在宅医療等とは、居宅に限らず、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、その他医療を受ける者が療養生活を営む場であって現在の病院・診療所以外の場所において提供される医療を指す。

医療提供体制の整備の方向性

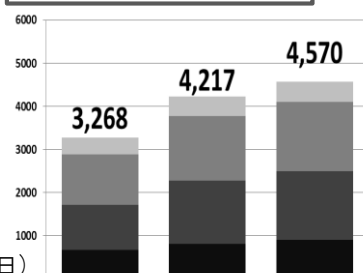
- 医療機能の分化・連携を進め、高度急性期から回復期、在宅医療等まで切れ目のない医療供給体制を整備します。
- 医師の診療科偏在や地域偏在の解消に取り組み、住み慣れた地域で必要な医療を受けられる体制作りを進めます。
- 地域包括ケアシステムの構築に併せ、在宅医療連携拠点等の機能強化や、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士等の確保・養成等、在宅医療体制の整備を進めます。
- ICTを活用した医療・介護連携システムの構築を進めます。

地域医療構想の推進体制

- 地域保健医療・地域医療構想協議会(地域医療構想調整会議)の設置
将来の必要病床数を達成するための方策やその他の地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について協議を行う場として、区域ごとに「地域保健医療・地域医療構想協議会」を設置します。
- 病床機能報告制度の活用
毎年度実施される病床機能報告の結果を活用して、各区域における病床の機能区分ごとの将来の必要病床数との比較を行い、地域の課題を分析することにより病床の機能の分化・連携を推進します。
- 埼玉県地域医療介護総合確保基金の活用
地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備において、財政的支援が必要な事業については、埼玉県地域医療介護総合確保基金を活用して必要な経費を支援します。

南部

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	3,268	4,217	4,570
高度急性期	391	457	481
急性期	1,167	1,499	1,607
回復期	1,055	1,460	1,586
慢性期	655	801	896

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	4,497	5,025	▲528
高度急性期	519	609	▲90
急性期	2,682	1,922	760
回復期	340	1,623	▲1,283
慢性期	832	871	▲39
休棟 無回答	124	—	124

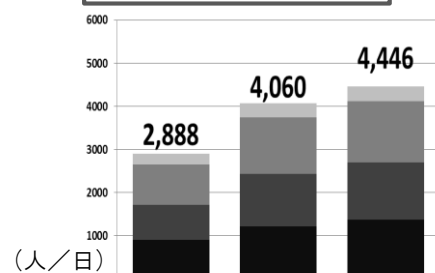
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	6,225	10,740



南西部

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	2,888	4,060	4,446
高度急性期	247	319	338
急性期	939	1,315	1,415
回復期	806	1,220	1,338
慢性期	896	1,206	1,355

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	4,337	4,777	▲440
高度急性期	283	425	▲142
急性期	2,451	1,685	766
回復期	360	1,356	▲996
慢性期	1,067	1,311	▲244
休棟 無回答	176	—	176

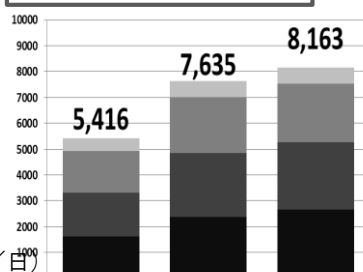
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	3,647	7,039



東部

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	5,416	7,635	8,163
高度急性期	501	623	635
急性期	1,595	2,171	2,267
回復期	1,711	2,461	2,601
慢性期	1,609	2,380	2,660

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	7,789	8,935	▲1,146
高度急性期	215	831	▲616
急性期	4,355	2,783	1,572
回復期	980	2,734	▲1,754
慢性期	1,812	2,587	▲775
休棟 無回答	427	—	427

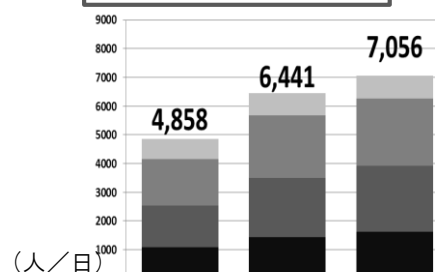
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	6,171	12,101



さいたま

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	4,858	6,441	7,056
高度急性期	698	779	801
急性期	1,634	2,161	2,342
回復期	1,445	2,071	2,297
慢性期	1,081	1,430	1,616

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	7,156	7,664	▲508
高度急性期	1,418	1,039	379
急性期	3,504	2,770	734
回復期	529	2,301	▲1,772
慢性期	1,529	1,554	▲25
休棟 無回答	176	—	176

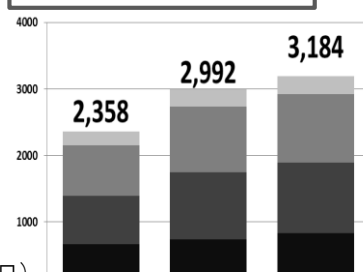
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	10,814	18,785



県央

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	2,358	2,992	3,184
高度急性期	209	258	262
急性期	759	993	1,035
回復期	734	1,008	1,063
慢性期	656	733	824

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	3,423	3,534	▲111
高度急性期	544	344	200
急性期	1,565	1,273	292
回復期	277	1,120	▲843
慢性期	866	797	69
休棟 無回答	171	—	171

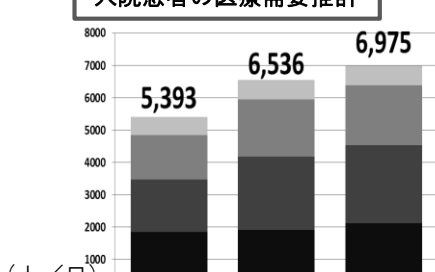
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	2,628	4,874



川越比企

入院患者の医療需要推計



	平成25年	令和7年	令和17年
需要合計	5,393	6,536	6,975
高度急性期	561	601	594
急性期	1,366	1,763	1,850
回復期	1,623	2,266	2,430
慢性期	1,843	1,906	2,101

需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差 引
合 計	7,266	7,652	▲386
高度急性期	1,726	802	924
急性期	2,338	2,260	78
回復期	1,024	2,518	▲1,494
慢性期	1,850	2,072	▲222
休棟 無回答	328	—	328

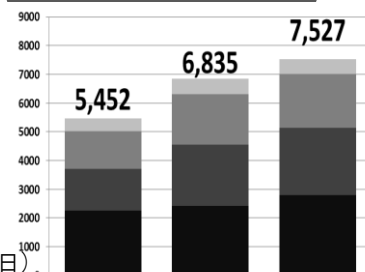
在宅医療等の必要量の推計

	平成25年	令和7年
合 計	4,816	8,799



西部

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	(床)		
	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差引
合計	7,624	7,951	▲327
高度急性期	815	694	121
急性期	3,085	2,249	836
回復期	787	2,370	▲1,583
慢性期	2,560	2,638	▲78
休棟 無回答	377	—	377

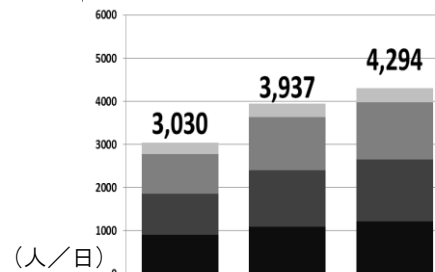
在宅医療等の必要量の推計

(人/日)	
平成25年	令和7年
4,350	8,938



利根

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	(床)		
	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差引
合計	4,539	4,630	▲91
高度急性期	232	426	▲194
急性期	2,526	1,580	946
回復期	612	1,448	▲836
慢性期	1,094	1,176	▲82
休棟 無回答	75	—	75

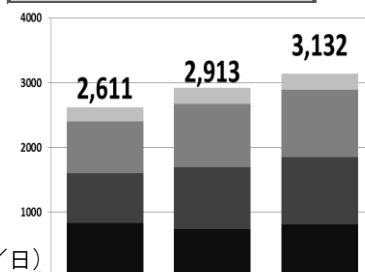
在宅医療等の必要量の推計

(人/日)	
平成25年	令和7年
2,849	4,547



北部

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	(床)		
	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差引
合計	3,949	3,442	507
高度急性期	260	327	▲67
急性期	2,171	1,258	913
回復期	332	1,066	▲734
慢性期	1,066	791	275
休棟 無回答	120	—	120

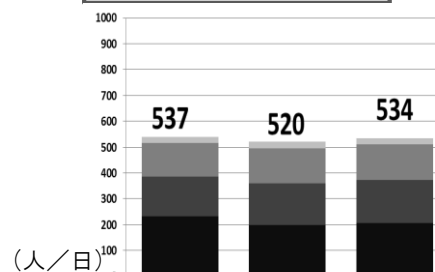
在宅医療等の必要量の推計

(人/日)	
平成25年	令和7年
3,771	5,541



秩父

入院患者の医療需要推計



需要推計を踏まえた必要病床数(推計)と病床機能報告による病床数の比較

	(床)		
	平成30年度 病床機能報告	令和7年 必要病床数	差引
合計	816	600	216
高度急性期	0	31	▲31
急性期	352	174	178
回復期	95	181	▲86
慢性期	322	214	108
休棟 無回答	47	—	47

在宅医療等の必要量の推計

(人/日)	
平成25年	令和7年
881	1,008

